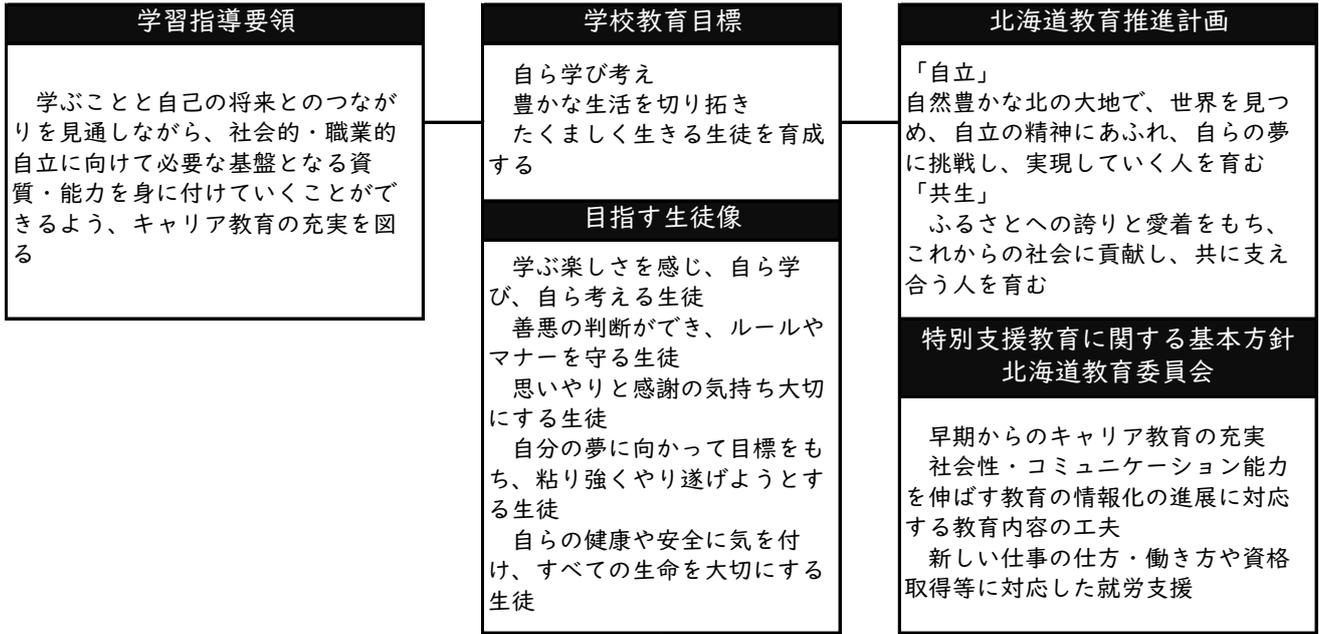


令和5年度（2023年度）北海道札幌高等養護学校「キャリア教育」全体計画



教育課程編成の重点

(1) 作業学習を教育課程の中核として、より職業生活に必要な知識・技能・態度・習慣を育てる教育課程を編成する。
 (2) 教科別の指導等では、一人一人の生徒の障がいの状態、特性、発達段階や生活年齢を考慮し、実生活で生かせる単元の設定を図り、より実践的な生活する力、働く力を高める教育課程を編成する。
 (3) PDCA (Plan 計画-Do 実行-Check 評価-Action 改善) の確かな実施、教科間の関連付け、社会資源（地域人材、専門家など）の活用を図り、カリキュラム・マネジメントの充実を目指す教育課程を編成する。

重点指導内容

①対人関係 ②作業力 ③作業態度 ④生活上の課題 ⑤障害特性等による課題

一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる中核となる作業学習・職業の目標

作業学習の目標	
農業科	花、野菜、作物の栽培などの学習を通して、勤労の体験を豊かにし、その意義を理解させるとともに、職業または働くために必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てる。
窯業科	窯業製品の製作から販売までの様々な作業を通してやりがいを感じ、働く意欲や人との関わり方など、職業自立と社会自立をめざす。そのために必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てる。
木工科	木材等を主材料とし、原材料から製品を加工、販売する学習などを通して、生徒の主体性や協調性、積極性を育てるとともに、職業自立など社会自立に必要な基礎的・基本的な能力の向上や集中力、判断力などの実践的な態度を育成する。
家庭総合科	紙工、縫工、織工などの作業学習を通して、勤労の体験を豊かにし、その意義を理解させるとともに、職業自立など社会自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てる。
クリーニング科	クリーニング作業全般及び接客の学習を通して、勤労の体験を豊かにし、その意義を理解させると共に、職業自立など社会自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てる。

職業の目標	
1 学年	自己の力を理解するとともに、職場体験や職業生活に必要な学習を通じて、基礎的な知識・技能・態度を身に付ける。
2 学年	自分の力を理解し、進路選択に向けての具体的な目標を設定するように促す。現場実習に向けて、職業生活に必要なルールやマナーを身に付け、規範意識を育てる。
3 学年	卒業を見据えて卒業後必要となる実践的な知識、技能、態度を養う。
進路指導の方針	
1 生徒個々の生き方や障がいの実態等に対応した質の高い進路指導に努める。 2 現場実習等を通じて、進路に対する啓発を図るとともに、職場や福祉事業所等、進路先の開拓や関係諸機関との連携に努める。 3 卒業後、地域生活を円滑に行うための移行ができるよう進路指導を進めるとともに、卒後支援の充実に努める。	
進路指導の内容	
1 学年	・進路見学 ・現場実習事前訪問 ・現場実習決意発表会 ・現場実習 ・現場実習報告会 ・職業ガイダンス ・保護者懇談会 ・個別進路懇談 ・進路会議
2 学年	・進路見学 ・前期／後期現場実習事前訪問 ・現場実習決意発表会 ・前期／後期現場実習 ・現場実習報告会 ・卒業生講話 ・保護者懇談会 ・個別進路懇談 ・進路会議
3 学年	・職業適性検査 ・職業相談 ・就労アセスメント ・現場実習事前面接 ・現場実習決意発表会 ・現場実習 ・現場実習報告会 ・進路講話 ・保護者懇談会 ・個別進路懇談 ・進路会議
連携機関	
▼児童相談所 ▼障害者相談支援事業所 ▼障害者就業・生活支援センター ▼自立支援協議会 ▼ハローワーク ▼北海道労働局 ▼障害者職業センター ▼行政機関（福祉課など） ▼特別支援学校進路指導連絡研究協議会（進路協）	

一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力などを育てる基盤となる教科等の目標の基本的な考え方

国語、社会、数学、理科、家庭、保健体育、情報の指導は、職業に関する教科又は主として専門学科において開設される各教科等と関連をもちながら働く生活の基盤となるよう指導にあたる。

美術、音楽の指導は、対人関係や将来の余暇活動に重点を置いて、生活の中で使える音楽的、美術的な指導内容とし、実践的で活動的な内容を取り上げるよう指導にあたる。

日常生活の指導や体力づくりの指導は、望ましい生活習慣や働く生活に必要な体力の向上をねらいとして指導にあたる。

特別の教科 道徳は道徳的心情や意欲、自主的な判断や行動をねらいとして指導にあたる。

自立活動の指導は、個々の障害の改善・克服のために教育活動全体を通じて指導にあたる。

特別活動の指導は、集団での活動を通して、対人関係や社会性の定着をねらいとして指導にあたる。

一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度・能力などを育てる年間指導計画の作成

各教科等の年間指導計画の作成にあたっては、題材ごとに指導内容を段階的にすることで、一人一人のキャリア発達を支援する内容がより具体化され、キャリア教育を形成していくために必要な意欲、態度、能力などの指導がより計画的に指導ができるよう工夫する。

一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力などを育てる評価

「個別の指導計画」や「現場実習評価表」により、一人一人の生徒の「卒業後の社会生活」の立場にたち、評価することで生徒、保護者がよさや課題を知り、キャリアを形成していくために必要な生涯にわたって学びに向かい、学んだことを自己の生き方や社会に生かそうとする意欲や態度の向上を促すよう指導にあたる。

障害特性上の課題や生活上の課題を踏まえ、将来、社会の一員として自覚を持つために、地域社会の中で自己の役割や責任を果たそうとする意欲や態度があるという前提に立って、作業学習や各教科等、現場実習で取り組むべき課題を明らかにし、日々の教育活動を通して達成させることを目指すことから、個別の指導計画を基にキャリア教育を効果的に実践する。